



“で” おうちDEわんぱーく

2020年 9月8日 No. 20 子育て講座編

起こりやすい

子どもの事故と予防

事故が起こる場所や原因は、発達段階ごとによって変わっていきます。
事故予防の知識を持ち、事前の対策で防げるといいですね。

発達に応じて

こんな事故が増えます！

ねんねのころ

- 窒息…… やわらかい布団
 スタイの巻きつきなど
- 転落…… ベッドやソファ、いす、
 ベビーカーなど
- やけど…… 食卓の調理品や
 コーヒーなど

寝返り～おすわりのころ

- 誤飲…… タバコ、電池、事務製品、
 おもちゃなど
- 転倒…… 抱っこ時の大人の転倒、
 つまずき

はいはい～つかまり立ちころ

- 誤飲…… 洗顔類、防虫、殺虫剤、
 衣料品など
- やけど…… 炊飯器などの蒸気、
 ポットの湯、暖房機器、
 アイロンなど
- 転倒・転落… 階段や窓など、自分で
 移動したい踏み台を
 利用して
- おぼれ… 浴室などで。
 数 cm の残り湯でも危険

注意や対策は早い時期から、

継続して行いましょう。

■対策は常に見直す

0～1歳代は子どもの成長が大きく、発達段階によって
起こりやすい事故の特徴が異なります。
発達には個人差があるので、わが子の成長に合わせ、
常に先回りして対策をしましょう。

■できることを知って応用する

家庭ごとの子どもの目線で環境を見つめ、どんな事故が
起こりそうかイメージしてみましょう。
「一緒にいるから大丈夫」「まだできないから大丈夫」
と思っても、実際には親の目の前で事故が
起きています。予防には心がけだけでなく、
具体的な対策が必要です。

夜間休日、判断に迷ったら…

小児救急でんわ相談

#8000 厚生労働省

休日、夜間の急な病気やケガで、救急車を呼ぶべきか、
時間外でも急いで受診する必要があるかなど、対応に
迷ったら【#8000】に相談を。全国共通の番号で、
その地域の相談窓口につながります。小児科医や看護師
が、症状に応じて処置などアドバイスします！

緊急・重症の
場合は
迷わず119へ！